

2013年1月24日

各 位

JXホールディングス株式会社
JX日鉱日石金属株式会社

JXグループ危険体感教育センターの開講について
—— 現場の日常作業に潜む危険を疑似体験し、危険感受性を高める ——

JXグループは、このたび、JXグループ危険体感教育センター（以下、「当センター」）を完成させ、1月23日に開講式を行いました。

当センターは、日常作業に潜む危険を疑似的に体感することを通して、作業員、管理者の危険感受性を高め、災害の発生を未然に防止することを目的とした、体験型の安全教育施設です。JXグループでは、かねて「安全はコンプライアンスと並び事業存続の大前提である」との認識のもと、労働災害の撲滅に向けグループ各社において安全教育を実施しており、今後は当センターを積極的に活用することで、グループ全体の安全管理体制の一層の充実を図ってまいります。

【施設の概要と特徴】

名 称	JXグループ危険体感教育センター
住 所	茨城県日立市宮田町3585番121
設置者	JXホールディングス株式会社
運営者	JX日鉱日石金属株式会社
組織・人員	センター長1名、専任講師4名、非常勤講師若干名
対 象	JXグループ各社およびその協力会社の従業員
開 講	2013年1月23日
施設概要	敷地5,000㎡、延床面積1,900㎡、2階建て
教育プログラム の特徴	高所、回転体、クレーン・玉掛け、電気など、多様な危険の疑似体験が可能 (約40項目の教育設備でスタートし、順次拡充予定) 最新の設備、独自のカリキュラムと少人数クラス編成による高い学習効果

以上



J Xグループ危険体感教育センターの外観



1月23日の開講式における高所危険体感の様子
(左から2人目がJ Xホールディングス(株)社長 松下功夫、
左端がJ X日鉱日石金属(株)社長 足立吉正)